

■平成21年第3回定例議会(9月10日開催) : 山本せいごの一般質問より

6月議会での質問・回答項目の進捗確認

(1) 国の情勢の激変で、山手幹線の財源確保、国道163号線の計画の見通しは？

答弁 山手幹線・国道163号線は、精華町の基幹道路であり、国の動向を見定め、事業の促進が図れるよう、国および府に強く要望していきたい。

(2) 児童公園の整備について、遊具新設などの補助金の増額等、自治会との連携はあったか？

答弁 児童公園の整備について、点検保守、整備事業、補助金など随時連絡調整、相談を図り、相互の連携をして参ります。

(3) 福祉サービスの内容は報告受けたが、それらの実績はどうか？

答弁

- 介護保険書の発行と第1号保険者には介護保険制度のリーフレットを配布する。
- 要介護・要支援の方に対するサービス内容をケアマネージャーより説明する。
- 障害者手帳の公布の際に「障害者福祉の手引き」を渡し、町独自の制度の説明や相談窓口等の連絡先など説明している。

(4) 山手幹線の南稲地区の迂回路建設の見通しは？ **一歩前進**

答弁 概略計画案ををもちに今後、自治会並びに関係地権者の協力を得ながら、関係者の方々には今年度中に打診をしてまいりたい。
整備にあたって国の補助金・予算の確保に努める。

(5) LED蛍光灯の調査の結果は？

答弁 現行設備に取り付けできない為、導入について状況把握に努めてまいります。
(器具の新規設置費用、器具価格の動向など)

障害者の行事に対する町の支援のしかたは？

●障害者の行事へどのような支援がされているか？ 又安心して参加いただくために、それぞれの障害(者)に対して、どのようなきめ細かい支援がされているか？

答弁

- スポーツやレクリエーションの「障害者ふれあいの集い」をむくのきセンターで開催。身体障害児手帳所持者、療養手帳所持者、相楽作業所療育者、養護学校生徒など1300人参加。・・・70万円の助成。

- 精華町障害児レクリエーション事業や障害児放課後週末支援事業を年16回程度開催。養護学校生や障害児学級生、就学前の障害児の方を対象・・・約50万円の助成。

- 障害のある方に対するボランティア講座を開催。(点字ボランティアの養成講座を予定) 昨年は広報音訳ボランティア養成講座を開催・・・約10万円の助成。

- 相楽地域として手話奉仕員養成事業の講座。・・・約45万円の助成。

- 精華町障害者地域自立支援協議会の就学支援部会や精神障害部会で働く場の視察

土砂災害警戒指定地域の災害防止の取り組みは？

●精華町では、土砂災害警戒区域57箇所(内特別警戒区域53箇所)が指定されている。

答弁

- 対象地域では、土砂災害防止法の概要や警戒避難体制の概要を説明している。
- 平成20年度に精華町防災マップの更新し公表する。
- 防災パトロールの実施。20年度山田地区、21年度東畑地区の急傾斜地を点検した。
- 今後とも防災訓練の実施や、警戒避難体制などの整備を図っていききたい。

●住宅密集地や学校、特に南稲地域の通学路および精華台小学校の斜面が指定されており、ハード的な対策を含め対応していただきたい！！

●地元と密接な関係をとりながら、避難地域の誘導を含め、災害事例を教訓に早急に対策を講じていただきたい！！

土地開発公社からは手を引くべきではないか？

いからの損失？

●精華町が活用している土地開発公社は、公社経営健全化団体に指定されている。いわゆる一般企業でいう不良会社であり、手を引くべきではないか。情報公開もされていない。

答弁

- 公社は、平成4年に精華町、田辺町、木津町の3町を構成団体として設立された。
- 設立の目的は、地価高騰の時代に値上がり前に公共団体の将来の事業用地を確保するための用地取得・手続き・資金調達をすることにある。

答弁

●公社の損益状況は、平成20年度事業収支で約475万円の損失。平成15年以降6期連続の損失となっている。

●経済情勢の変化はあるものの、各種補助金などの財源獲得や国・府の事業と連動する事業の推進に公社をうまく活用したい。公社のあり方の検討はすすめる。

●平成11年保有残高総額約43億円から平成20年約25億円となっている。里山事業で買い戻すと11年から34億減少することになる。(保有額で約9億円)

●関連質問が他の議員からも出されています。

今の土地価格は？

●「里山モデル事業」はもともと町営住宅用地。以後府営住宅→公園墓地→温泉施設など利用目的がはっきりしないまま里山に15億円も使われる。事業責任をはっきりすべきです。

●「新ほうその保育所」の建設場所の決定プロセスを確認したい。

精華町議会を傍聴をしませんか！！！！

・・・精華町議会も情報公開の一環として議会の傍聴を求めています

後援会事務局
濱谷勝
はりん
な、かい
で政議
の員も
う解後
かや押
。監し
視・を
に刺傍
な激聴
るにし
のなま
でせ

で常なすわ約いりはじい手みさ
ま任議。るも場の慎ま、作、ん議
た委論も場あ面姿重す真り行は会
行員をう面つも勢で。剣の政、が
き会期少もて多で丁一にパの住開
たも待しあ、く的寧方取ネ課民会
い傍し自り結、確な、リル題要し
と聴た然、末まなが答組やな求、
思でいな残がた答ら弁、どや一
いきも言念あ持弁硬すで調質行般
まるの葉にいちというい査問政質
す。うす前いい間言葉幹姿料要取
な。向まにのい、部をを点り議
の各き 終制難守側感用を組員

傍肅入たし今きま今
聴でる。さ回ずしま初
者緊と庁れ、にたでめ
は張な舎る身いが一
8感か6よ近ま、度議
くのな階うにし要傍会
9あかのに山た領聴の
人る立議議本。がし傍
い感派会会議員。わたい
まじな受に員がわかい
しで議付向おらとしま
たす場後向おらとしま
。で議きり実つた
、場ま後現てた
厳にし押でい。

定例議会傍聴記